

英語リスニング A Listening A

薬：K2-04111MY、生命：K2-04111MS

素養科目 1、2、3 (薬)年／前期 1 単位 選択科目

科目責任者 稲田 俊一郎(英語・言語学研究室)

授業担当者 A・B 組：稲田 俊一郎、C・S 組：林 弘美

■教育目的 (各クラス共通)

みなさんにとって馴染みのある内容や興味のある話題に加えて、みなさんの想定外の、あるいは想像を越えた情報を英語で聴き取る能力の向上に取り組みます。そのためには、その話題を「英語で聴く」という実践的なリスニング能力に加えて、そもそも何と発音したのか「英語を聴く」という基礎的なリスニング能力も重要になります。今後のみなさんを形づくっていく情報を英語で聴きとれるようになるために、実践的リスニング学習と並行して、英語そのものを聴き取るための学習にも取り組ましましょう。【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、YD-④、YD-⑥、SD-①、SD-②、SD-③】

■学習到達目標 (各クラス共通)

1. 英語母語話者の英語を含め、世界の様々な人が話す英語を聴いて、ニュースメディアの英語から興味のある情報を得られるようになる。(知識、技能)
2. さまざまなメディアで使われる英語の語彙を補強するとともに、英語母語話者の自然な発音の特徴を学び、英語で何と聞いたのか聴き取れるようになる。(知識、技能)

■授業内容

A・B 組 稲田 俊一郎

実際に英語で発信された海外メディアのニュースを題材としたテキストを用いて、基礎的なリスニング学習に取り組むつつ、海外メディアが発信する英語を自力で聴き取るためのポイントを学びます。実際のちょっと早口の英語を聴いて、「どう聴こえたか」ではなく「何と言った(はず)か」をどんどん理解して消化していくための基礎を身につけていきましょう。

[No.1] イントロダクション：実践的英語リスニングのために

[No.2] Listening Exercise 1: 英語の音

[No.3] テキスト Unit1

[No.4] Listening Exercise 2: 発音してくれない音

[No.5] テキスト Unit2

[No.6] Listening Exercise 3: つながる音 1

[No.7] Listening Exercise 4: つながる音 2

[No.8] テキスト Unit3

[No.9] テキスト Unit4

[No.10] テキスト Unit5

[No.11] Listening Exercise 5: 予測して聴く

[No.12] Listening Exercise 6: 意図を読み取る

[No.13-14] これまでの復習

[No.15] 期末課題に取り組む

この授業はオンデマンド形式ですが、課題に対する皆さんの回答は MY-CAST を活用して常に参照しつつ、習熟度に合わせた講義を配信します。

準備学習 (予習・復習)：予習：教科書の該当範囲に知らない単語があれば辞書で、気になる内容があればニュース等で調べる (30 分)。教科書の該当範囲の語彙問題やリスニング課題に取り組む (20 分)。

復習：追加のリスニング課題に取り組む (10 分)。

授業形態：課題解決型学習、双方向型授業 (ICT 活用)、講義

課題 (レポート、試験等) のフィードバック及び成績評価方法：各課題は指定の期日までに、必ず授業内容を踏まえて回答し、次の講義を視聴しながら復習できるようにしてください。

毎回の講義では、各課題について参加者全員の回答を参照したうえで今年度の習熟度を測り、それを参考にして、回答の一部を取り上げて課題のフィードバックを行います。

成績は、

・毎回の課題 (MY-CAST) の提出率 (40 %)

・期末課題 (MY-CAST) の得点 (60 %)

で総合評価します。

教科書：『CNN：ビデオで見る世界のニュース (27)』 山本英一他編著 (朝日出版社)

C・S 組 林 弘美

下記テキストを用い、アメリカの学生向けニュース番組 CNN10 を題材として、リスニングを中心とした演習を行う。この授業はオンデマンド形式で進める。具体的には、毎回 MY-CAST 上で課題を出し、その回答を確認しながら次のユニットに取り組んでいく。各学生が音声ファイル等を操作し、自分のペースでリスニングに取り組んだ上で、大体の内容が理解できているか確認を行い、その後、より詳細な部分の聞き取りへ進んでいくようにする。あわせて、語彙力の増強、音読練習、

重要表現・文法事項の確認を行う。各回の授業内容は次の通り。

[No.1] インTRODクシヨン

[No.2] テキスト Unit 1

[No.3] 期末試験に向けての学習方法(その1: 過度に不安にならないように)

[No.4~7] テキスト Units 2~7

[No.8] 期末試験に向けての学習方法(その2: さまざまな学習方法のご紹介)

[No.9~11] テキスト Units 8~12

[No.12] 期末試験に向けての学習方法(その3: 期末試験の出題形式・問題例)

[No.13-15] これまでの復習および期末試験対策・試験に対するアドバイス

授業外の時間にも、引き続き自発的にこれらの演習を取り入れた学習を進められるようになることを願っている。

準備学習 (予習・復習): 予習: 各ユニットに入る際に、Vocabulary と Vocabulary Exercise に取り組むこと。(30 分) / 復習: 各ユニットの音声ファイルやオンライン映像を視聴し、内容理解を深めるとともに、Dictation または Repeating や Shadowing に取り組むこと。やり方は授業時に指示する。(50 分)

授業形態: 課題解決型学習、双方向型授業 (ICT 活用)、講義

課題 (レポート、試験等) のフィードバック及び成績評価方法: ・毎回の授業時における各学生の演習の状態を確認し、到達度を把握する。

- ・小テストを行い、間違えやすいところなどの解説を行う。
- ・講義や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、解説・説明をする。
- ・期末試験(70 %)、小テスト+レポート(30 %)で総合評価する。

教科書: CNN 10 Student News Vol. 14 関戸冬彦・小暮正人・Jake Arnold・Christopher Mattson (朝日出版社)